

「ごみ収集方式のあり方」についての説明会

令和6年11月のまちぢから協議会全部会にて「ごみ収集方式のあり方」について説明会が行われました。茅ヶ崎市の資源循環課、環境事業センター職員の方より「茅ヶ崎市実施計画2025」の中で検討が進められている『戸別収集導入検討に関する事業』についてお話をいただきました。

現行のステーション方式に加えて新たに検討されている戸別収集方式の両方にメリットとデメリットがあります。戸別収集方式を取り入れるかは、市内一部地区をモデルとした実験事業の結果を受けて判断されるところですが、鶴嶺東地区でも「**ならない不適正排出と周辺環境の悪化**」「**地域への負担**」「**不公平感の発生**」などの諸問題は発生しており、戸別収集方式導入には参加者の関心と期待の高さが感じられました。



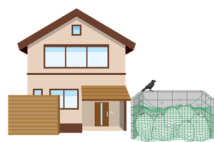
11月の全部会にて行われた「ごみ収集方式のあり方」説明会の様子

戸別収集のメリット・デメリット

茅ヶ崎市作成「ごみ収集方式のあり方」より抜粋

メリット

- ステーションの清掃など維持管理の負担の軽減
- 自宅の目の前にステーションがあることに対するストレスの軽減
- 排出者責任の明確化
➡ 不適正排出の減少 ゴみの減量化
- 高齢者や障がい者、子育て世代のごみ出し負担の軽減



デメリット

- ごみの収集効率の低下
- ごみの収集運搬費用の増大
- 排出者を特定しやすいため、プライバシーや防犯面で不安が生じる
- 鳥獣対策に伴う費用負担
- ご近所付き合いの希薄化



賀詞交歓会

令和7年1月11日に鶴嶺東コミュニティセンターで開催されました。昨年に引き続き、佐藤茅ヶ崎市長をはじめ多くのご来賓にご出席を賜りました。新春のお祝いと交流を深め、盛況のうちに終了いたしました。

能登半島地震災害義援金

総額21,262円となりました。

令和6年の能登半島豪雨災害で被災された皆さまならびにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

鶴嶺東地区まちぢから協議会では、令和6年1月に発生した能登半島地震の義援金に引き続き、9月に発生した豪雨災害の義援金受付も行いました。ご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。

鶴嶺東コミセンに設置された募金箱

